



セブ専門留学エージェント
セブイングリッシュ

フィリピン セブ島留学

格安&少人数制の 『セブ島』で英語を学ぼう!!



フィリピン
第二の都市&
常夏リゾート

充実
マンツーマン
授業

直行便で
4時間半

年間
1万人以上
が留学!

格安4週間
約15万円~
寮&食事付

相談
手数料
無料!

<目次>

フィリピン・セブ留学の魅力・・・2-3

なぜセブ島なのか？
セブ島の防犯対策・・・4

授業の特徴・・・5

みんなが心配するQ&A・・・6

留学までの流れと申し込み方法・・・7

CEBU Englishの特徴・・・8



フィリピン・セブ島留学の魅力

01. 格安の留学費用

物価の安いフィリピンでは欧米諸国に比べ、破格の値段で留学を実現することが可能です。

《4週間留学の費用例》

※申し込まれる学校、コース、お部屋の種類(1~5人部屋・ホテル・寮)によって値段は異なります。

・ 入学金+授業料+寮費(食事・洗濯・掃除含む) = 約13万~30万円

・ ビザ関連+教材費+電気代etc = 約3.5万円

・ 航空券 = 5~10万円

・ お小遣い = 5千~5万円

《TOTAL》

約22万円~48.5万円

《フィリピンの物価》

例) タクシーの初乗り約100円、外食フィリピン料理250円~、外食日本食500円~、缶ビール約80円、1.5ℓのコーラ約130円、マッサージ屋:1時間500円~、男性の散髪:約120円~

02. マンツーマン授業

フィリピン留学では講師と生徒が1対1で行われるマンツーマン授業が充実しており生徒が10名前後のクラスで行われる欧米留学の授業と比べて自分のレベルにあった授業で受けられます。経験豊富な講師がたくさん在籍しており、英語初心者でも安心して授業に取り組めるので早い上達が期待できます。



03. 英語が第二公用語

フィリピンは日本から一番近い英語が多様される国です。中流層以上の多くが英語を話せるので、レストランでの外食やショッピングモールでの買い物など、日常生活の中でも英語に触れる環境が整っています。



04. 様々なタイプの学校



留学先として人気のセブ島では、お客様のニーズや留学目的(例:会話力アップ重視、ビジネス英語、英語試験対策等)に合わせた多数の語学学校が点在しています。競争率の高い採用試験を通過した優秀な講師を採用しているので質の高い授業が受けられます。

05. 授業量が欧米の約2倍!

欧米留学の授業は半日だけというのが一般的ですが、フィリピン留学におけるカリキュラムは欧米留学と比較すると2倍以上(8~10時間)の授業量です。単に欧米留学よりも安いというだけではなく、講師と1対1のマンツーマン授業や少人数制のグループ授業が中心になりますので、周りを気にすること無く密度の濃い授業が受けられます。



06. 食事・掃除・洗濯サービス付の全寮制

フィリピン留学の大きな利点の一つは、食事・掃除・洗濯を全て行ってくれることです。身の周りの家事を全て行ってくれるので、勉強だけに集中できます。ほとんどの学校では土日も含め、食事が3食提供されていますので、お財布にも優しく、学校で提供されるので衛生面でも安心です。
※一部の学校では朝食のみ提供していたり、別料金が設定されている学校もあります。



07. 出発前のビザ準備が不要

欧米留学ではビザ関連の手続きが複雑で時間と手間がかかります。フィリピン留学では出発前のビザ申請が不要。現地については学校職員が手続きを代行してくれるので簡単、手間いらずです。



08. 日本との時差は約1時間なので、時差ボケの心配はなし

欧米と日本では半日程度の時差があるので数日間は時差ボケで勉強に集中できません。フィリピンと日本の場合、時差は約1時間ですので時差ボケの心配はなく比較的早く環境に馴染めます。

■ なぜセブ島なのか？ フィリピン留学の中でも、セブ島が一番人気の理由

◎ フィリピン第2の都市&世界有数のリゾート地

フィリピン第2の都市であるセブ島は、いくつもの巨大ショッピングモールがあり、生活に必要なものはすべて現地で購入できます。生バンドの演奏が行われる南国らしいレストランやバーも多く、日本とはひと味違った賑やかな雰囲気の中で留学生活が送れるのもセブの大きな魅力の一つです。観光地としても有名で、アイランドホッピング、巨大ジンベエザメウォッチング等のマリンアクティビティが充実しており、世界中から多くの旅行客が訪れる場所でもあります。気候は1年中、暖かく夏服で過ごすことができます。

◎ 安定した治安

セブ島はフィリピンの中では治安が安定しており、数千人の日本人も暮らす都市です。自己管理さえ怠らなければ安全に生活することができます。

◎ 日本から直行便で4時間半

フィリピンの地方都市の中でセブ島は数少ない日本からの直行便が就航している地域です。時差も1時間だけしかない為、移動の疲れや時差ぼけに悩まされることなく、到着した翌日から留学生活を開始することができます。

◎ 英語が通じやすい

セブ島では、ビジネスシーンを中心に英語が多用されており、中流層以上は英語に長けている人が多いです。欧米向けのコールセンター等もあちこちにあり、日頃から英語を使った仕事をしている人が多い土地柄です。一方、マニラ首都圏では、共通語としてタガログ語が中心となっており、訪れた外国人は現地の人々から「タガログ語は話せないの?」と聞かれることが良くあります。

◎ 長期滞在の日本人に適した土地柄

日本食レストランや日本食料店が多数点在、また日本語で対応できる総合病院があるので、もしもの時も安心です。更に、世界的な観光地でもあるセブ島には日本人以外の外国人も多いため、中華料理やイタリアンなど世界各国の料理も楽しめます。

■ 治安や病気の心配

セブイングリッシュは「安全対策会議」をサポート

CEBU Englishの代表者はセブシティにある日本領事事務所で定期開催される語学学校の日本人管理者向けの『セブ留学生生活安全対策会合』を代表幹事としてお手伝いしており、そこで得られる情報は当社の安全・防犯対策情報に速やかに反映させております。



■ セブ島の防犯対策

セブ島は、首都であるマニラや南部に位置するミンダナオ島の一部地域のような特に危険な地域と比較してフィリピンの中では比較的治安が安定しています。しかし、外国人が多く滞在する地域であるが故、外国人を狙ったひったくりやスリなどの軽犯罪の被害に遭う可能性も決して低くはありません。飲食店で荷物を置いて場所取りをしたり歩きながらスマートフォンを操作する、ヘッドフォンで音楽を聞きながら外を歩くなど、日本ではありふれた行動も、海外では犯罪を誘発してしまう危険な行動になるのでご注意ください。セブ島での移動はタクシーが最も安全でお勧めです。セブのタクシー運賃は世界的に見ても低価格(初乗り100円程)であり、気軽に利用できます。人の多い場所で現金や高価な所持品を不用意に見せないことも大切です。また、外国人旅行者や留学生を狙った詐欺事件も発生しています。ショッピングモール内で、知らないフィリピン人に声をかけられてもついて行かないようにしましょう。「ここは日本ではないのだ」という自覚をしっかりと持ち、きっちり防犯対策をして不要なトラブルに巻き込まれないようにしましょう。



■ 南国特有の病気について

日本のように水道水は飲めません。ペットボトルで売られている水もしくは学校内に設置されている給水器の水を利用しましょう。食事に関しても、衛生的な食事を心がけることで食中毒などの病気を予防できます。また、稀に蚊を媒介にしたデング熱のような病気もありますので、虫除け対策は日本よりも慎重に行いましょう。滅多にないケースですが、フィリピンは狂犬病もある国なので、野良犬はもちろん猫や鳥などの動物には不用意に近づかず噛まれたりしないように注意しましょう。

■ 授業の特徴

マンツーマン授業



フィリピン留学の最大の特徴はマンツーマン授業が充実していることです。

少人数制グループ授業



欧米のグループ授業は10～15人の生徒がいるクラスが主流ですが、セブ島では一人の講師に対し4～6人の生徒で授業が行われるので、各生徒が発言しやすい効果的な授業が受けられます。また、マンツーマン授業で学習した英語をグループ授業でアウトプットすることでさらなる成長が期待できます。

ネイティブ講師の授業



セブ島にある一部の学校ではアメリカ人やイギリス人といったネイティブ講師を採用しているため英語圏に近い環境で学習することができます。

留学生の 一日のスケジュール(例)

07:00～07:30	朝食
07:30～07:55	ポキャブラリーテスト
08:00～08:50	マンツーマン授業①
09:00～09:50	マンツーマン授業②
10:00～10:50	空き時間
11:00～11:50	グループ授業①
12:00～12:50	昼食
13:00～13:50	マンツーマン授業③
14:00～14:50	グループ授業②
15:00～15:50	空き時間
16:00～16:50	マンツーマン授業④
17:30～18:30	夕食
18:30～	自由時間～就寝

フィリピン人講師のメリット

ネイティブに近い英語力

フィリピンでは幼稚園や小学校から英語教育が始まるため、大卒で訓練されたフィリピン人講師は正確で流暢な英語を話します。

ノンネイティブ

フィリピン人にとって、英語は第2言語。学習の仕方や生徒の気持ちを理解した上で指導してくれます。学習方法など気軽に相談でき、留学中も心強いですね。

フレンドリー

フィリピン人はフレンドリーな国民性なので、とても親しみやすい講師が多くなります。明るく、朗らかな講師達と和やかな雰囲気の中で気後れすることなく会話をすることができます。授業では笑いが絶えません。



Q:どのような年齢層の方がセブへ語学留学していますか？

A:10代～70代まで幅広い年齢層の方が留学されています。近年、弊社を利用した日本人生徒全体の男女比は女性6：男性4程です。学生の長期休暇期間（7月後半から9月前半、2月～3月頃）は若い世代の学生が多くなりますが、それ以外の時期は、20代前半～35歳前後の方が多くなる傾向にあります。弊社を利用した生徒の最高齢は80歳の男性（ここ数年は、毎年のように冬～春に留学いただいております。）で、50歳～60歳の卒業生も大勢いらっしゃいます。親子留学では3歳以下の小さなお子様も留学を楽しまれていました。

Q:祝祭日・年末年始には授業がありますか？

A:フィリピンおよびセブの祝日・年末年始には語学学校も休みになるケースが多く、その際の授業の振替や返金等は基本的にありませんのでご了承ください。また、フィリピンの祝祭日は、急に日付が変更になったり、突然祝日が制定されたりすることがあります。このような場合でも、授業の振替や返金等の対応は基本的にございません※学校によっては独自のポリシーを設け、何らかの対応がなされる場合もあります。



Q:まったく英語が話せませんが大丈夫ですか？

A:当社をご利用いただいた方の中にも、まったく英語が話せなかったという方が大勢いらっしゃいます。フィリピンの語学学校では、講師と留学生が1対1のマンツーマン授業を中心にカリキュラムが構成されており、留学生の英語レベルと学習ベースに合わせた授業が行われています。内容を理解できないまま授業が進んでしまうことは無く、他の留学生を気にすること無く、自分が納得するまで講師と1対1で学習する事が出来ます。講師達は、英語初心者と接することに慣れており、親身になって授業を進めてくれます。最初は不安な方も、教材に書かれた文字を指差し確認しながら授業を進めていく等して、徐々に英語に慣れていきます。ただし、日本にいるうちに「基本的な文法」や「挨拶、質問の仕方の表現」等を身につけておくと、よりスムーズに講師とコミュニケーションをとることができ、限られた期間の留学生活がより充実したものとなるでしょう。

Q:日本の電化製品は使えますか？

A:フィリピンは220ボルトの60ヘルツで、日本と同じAタイプのプラグ形状が一般的です。電圧が220ボルトで日本と異なる為、ご利用の機器によっては変圧器が必要になります。変圧器はセブのショッピングモールやホームセンターでも購入できますが、粗悪ですぐに壊れてしまう品もあるようですので、必要な方は日本から持参するか、セブで購入する場合には、使用しない時にはコンセントから抜いておくようにしましょう。一般的にドライヤーは消費電力が高いので、安い(小さい)変圧器では使えない場合がありますのでご注意ください。ドライヤーは当社セブイングリッシュのレンタルサービスをご利用いただくか、こだわりがある方は、日本で220V対応の製品を購入する、また、ドライヤーは現地で安く購入も可能ですので、滞在中の使い切りと考えての現地調達を視野に入れても良いでしょう。旅行や海外出張等を想定して作られているノートパソコンやデジタルカメラ、電気カミソリ等は100V-240V対応のものがほとんどのようです。製品のマニュアルや充電器、ACアダプタに対応電圧の記載がありますので事前に必ずご確認ください。

Q:フィリピンに入国する為の条件は？

- ・往復航空券、もしくは、フィリピンから第3国へ出国する航空券が必要です。
- ・パスポート残有効期間が、滞在日数 + 6ヶ月以上必要です。
- ・15歳未満の単独での入国は不可です。
- ※ 親子でも苗字が異なる場合、親子関係が証明できる書類が必要です。
- ※ 親以外の保護者が同伴する場合は、事前に日本にあるフィリピン大使館・領事館で手続きが必要です。



Q:学校内サービスやセブの飲食店では職員にチップをあげる必要はありますか？

A:学校内サービスはチップ不要です。エアコンが効いているような中間層以上が利用するレストランでは利用者1人あたり20ペソ程度のチップをテーブルに残すフィリピン人が多いようです。街中の安価なマッサージショップでは50ペソ程度のチップを施術後に直接マッサージ師に手渡すかマッサージベッドに残すのが一般的です。ファーストフードやタクシーではチップ不要です。なお、サービスが悪かった場合はチップを残さなかったり、必ずしも全てのフィリピン人がチップを渡しているわけではないので、あくまでも参考情報としてご自身で判断してください。

Q:病気になったらどうする??

A:セブ市の複数の総合病院内にあるジャパニーズヘルプデスク(J.H.D)では、日本人職員が日本語で診察サポートをしています。もちろん、日本の各種の海外旅行傷害保険が使えます。※一部ジャパニーズヘルプデスクで扱えない海外旅行傷害保険があります。



留学までの流れと申し込み方法



セブ島留学に興味が出てきたら、まずはお気軽にセブイングリッシュまでお問い合わせ下さい。学校に求める条件や希望開始時期や期間、ご自身の英語レベルや英語習得目的などをお知らせいただければ、あなたにあった学校と概算料金をご提案いたします。

STEP 1

まずはお気軽にご連絡ください!

現地にオフィスがある当社では、頻りに各学校を訪れ、常に最新の情報を提供できるよう努めております。お客様にあった最適な学校をご提案いたします。

STEP 2

入学・学校のお申込み

ご希望のコースと滞在日程等が決まりましたら、学校の空き状況を確認いたします。確認後、入学が可能であれば、入学お申込みとなります。＊出発日が1ヶ月を切っている場合も学校の予約状況次第で受付させていただきます。お気軽にお問合せください。

STEP 3

パスポートをご準備ください

発行迄に1～2週間程度の日数がかかります。パスポートをお持ちでない方は申請をお願いします。フィリピン入国の際には滞在終了予定日+6ヶ月の残存有効期間のあるパスポートが必要です。パスポートをお持ちの方も再度ご確認ください。

STEP 4

費用のお支払

お申込みの後、1週間以内に入学金と滞在手配料を弊社指定口座にお振込ください。残金は入学の1ヶ月前までに弊社指定口座にお振込みください。入学日まで1ヶ月を切ってお申込みされた場合は留学費用の全額を一括でお振込みください。

STEP 5

航空券の予約

インターネットや旅行会社・航空会社を通じて、セブ空港にお出迎えする日程に合わせてチケットを予約します。フィリピンでは帰国または第3国に出国するチケットがない場合、入国が拒否されますのでご注意ください。

STEP 6

海外旅行傷害保険の加入

研修期間中の病気、事故、物を紛失した場合に必要なのが海外旅行傷害保険です。弊社では海外旅行保険の加入を強くお勧めいたします。

STEP 7

持ち物の準備

弊社から案内する持ち物リストを参考にして留学に持って行く荷物を準備してください。また、フィリピン入国手順や、セブ空港での待ち合わせ方法の案内書を弊社からメールでお送りしますのでご確認ください。

STEP 8

フィリピンへ出発!

日本からの飛行機出発の2時間前には空港に到着し、出国手続きをしてください。

STEP 9

セブ到着後

セブの空港に降りて諸手続きを済ませてから、合流場所に向かって下さい。詳細は前もってお知らせします。

留学を考え始める

出発の1ヶ月以上前

出発の1ヶ月前

出発の1週間前

出発当日

現地到着

CEBU Englishの特徴 フィリピンの学校のみを紹介

フィリピン専門留学エージェント『セブイングリッシュ』

何よりも信じる自分達の目で選び抜いた学校を紹介する!

セブ地域の語学学校に留学経験がある弊社日本人職員が常に学生の視点に立って意見・ご提案をさせていただいております。弊社職員が頻繁に提携校を訪問し、授業・講師の質・学校内の様子・周辺環境等を調査しております。また、新設校を紹介するまでには開校後、最低でも半年以上の期間を空け新しく学校を紹介する場合は少なくとも5回以上は期間を空けて学校を訪問し、インタビューや、学校管理者との入念な



これらのクオリティーを保つため職員の目の届く範囲、すなわちセブ島地域の学校のみをご紹介します。

弊社職員がセブ島各地の学校に訪問する回数は【年間約300回前後(2015年283回、2014年314回、2013年340回)※1日に複数校訪問する場合も1回にカウント】です。その様子は、弊社ホームページ内の学校訪問ブログでも確認できます。常日頃から学校を訪問し、学校の最新の状況をホームページや留学検討者様への情報提供に活かしています。

留学中の現地充実サポート!

現地にオフィスがあることで、より幅広いサポートを提供することが出来ます。緊急時の補佐はもちろん、留学中のカウンセリング、セブの観光情報の提供、携帯電話や電気スタンド、ドライヤー等のレンタルなど、外国人がフィリピンで生活する上で必要となる全てのことを格安でサポートし、充実したフィリピンでの留学ライフをお約束します。



フィリピン専門留学エージェント

<https://cebu-english.com>



ご相談はコチラ

セブイングリッシュ

【留学】Cebu English Study Consultancy, INC. 【映像】ESL Video Studio
3rd Floor, Room A3R, Pacific Square, F.Cabahug Street, Mabolo, Cebu City, Philippines.

☎ (050)5532-9617 ※日本からお電話の場合

☎ (0906)-345-4972 ※フィリピンからお電話の場合

✉ info@cebu-english.com

LINE : <https://lin.ee/t9v7YbP>



Skype ID
kicss-cebu